

事業	移住交流促進事業費				担当部署	部名	産業経済部	
123	事務事業名					課名	観光・ブランド課	
						電話	82 - 1966	
総合計画	施策の大綱	第2部 だれもがいきいきと輝くまち		予算科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第3章 交流で輝くまちづくり					項	総務管理費
	施策名(節)	第1節 国内交流の推進					目	企画費
事業開始・終了年度	平成 19 年度		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等	射水市移住交流促進事業補助金交付要綱							
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	8	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	大都市圏を中心とした、県外の住民						
	意図 (どのような状態に)	定住人口及び交流人口の拡大、市の知名度を高める						
事業内容	手段 (どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家情報バンクの運営</li> <li>県との共同による情報発信</li> <li>大都市圏等で開催される各種フェア、セミナー等への参加及び出向宣伝</li> <li>啓発パンフレット等の作成及び活用</li> </ul>						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	移住交流滞在施設稼働率	%	35.60	35.00	42.39	121.1	40.00	45.00	100.0
	移住交流促進事業体験者の移住世帯数	世帯	1	3	2	66.7	3	5	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	空き家情報バンク物件登録数	件	27	30	25	83.3	30
	各種フェア、セミナー等への参加・出向宣伝数	回	3	4	5	125.0	4

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	580 千円	441 千円	24.0	696 千円
財源内訳	人件費	6,555 千円	6,460 千円	1.4	6,460 千円	
	退職手当引当金相当額	950 千円	950 千円	0.0	950 千円	
	事業コスト計	8,085 千円	7,851 千円	2.9	8,106 千円	
	国県支出金	180 千円	117 千円	35.0	187 千円	
	その他	0 千円	千円		0 千円	
	一般財源	7,905 千円	7,734 千円	2.2	7,919 千円	
	当該事務従事職員数	0.95 人	0.95 人	0.0	0.95 人	

評価項目	点数	説明
必要性	3	市の豊かな地域資源を体験し、交流・定住人口の拡大を促すためには有効な手段と考える。しかしながら、市内にはホテルや旅館等の宿泊施設もあることから、民業を圧迫しないよう常に情報収集が求められる。
有効性	4	市のイメージアップ及び地域経済への活性化等に効果があったと考える。また、体験から移住へのつながりも少数であるが確実にあり、有効に運営されている。
達成度	3	各種フェア及びセミナー等でPRしたことにより、体験者数が増加し、移住へと繋がりがつつある。今後も、空き家情報バンク登録物件数を増やすと共に、各種フェア及びセミナー等に参加し、県外へ向け積極的にPRする必要がある。
効率性	4	県費補助等を有効に活用し、一般財源の圧縮を行っている。また、単年度ごとに補助内容等の見直し、県と一体となり広域での事業運営を行っていることから、効率的に運営されている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	将来的に体験者が移住・定住者となるよう、空き家情報バンクの活用、定住等に関する各種処施策の充実、連携等を図る。 また、首都圏等を中心に、事業の積極的なPRを図る。

事業 124	補助金 の名称	射水市移住交流促進事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	観光・ブランド課	
							電話	82-1966	
総合 計画	施策の大綱	第2部 だれもがいきいきと輝くまち			予算 科目	会計	一般会計	款	総務費
	政策名(章)	第3章 交流で輝くまちづくり						項	総務管理費
	施策名(節)	第1節 国内交流の推進						目	企画費
補助期間		平成 19 年度 ~ 平成			年度				
根拠法令・要綱等		射水市移住交流促進事業補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	NPO法人水辺のまち新湊、NPO法人こすぎ総合スポーツクラブきらり						
	意図 (補助目的)	射水市移住交流滞在施設の管理及び運営、定住人口及び交流人口の拡大						
事業 内容	手段 (主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住交流滞在施設の管理・運営</li> <li>・移住交流促進事業のPR</li> <li>・体験プログラム等の企画・実施</li> <li>・市の魅力や各種定住施策等のPR</li> </ul>						
		類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他( )				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	移住交流滞在施設稼働率	%	35.60	35.00	42.39	121.1
	移住交流促進事業体験者の移住世帯数	世帯	1	3	2	66.7
	移住交流促進事業生活体験施設数	軒	4	5	5	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	3,620 千円	(金額)	4,920 千円	(金額)	5,400 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	2 件	(件数)	2 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	施設の管理運営及び事業のPR等に関する経費 ・人件費、リース料、消耗品費等				予算の範囲内 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市の豊かな地域資源を体験し、交流・定住人口の拡大を促すためには有効な手段と考える。しかしながら、市内にはホテルや旅館等の宿泊施設もあることから、民業を圧迫しないよう常に情報収集が求められる。
有効性	4	市のイメージアップ及び地域経済への活性化等に効果があったと考える。また、体験から移住へのつながりも少数であるが確実にあり、有効に運営されている。
効率性	4	NPO法人を活用し、地域に根ざした運営が行われ、地域との交流も生まれている。単年度ごとに補助内容等の見直し、県と連携し広域での事業運営を行っていることから、効率的に運営されている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	<p>市のイメージアップ、交流・定住人口の拡大を促すための手段として有効であり、今後も継続し補助を行う。また、地域資源の活用及び住民との交流等のプログラムに取り組むよう指導したい。</p> <p>しかし、施設は事業実施主体者が古民家を賃貸借し実施していることや、経年による老朽化等が懸念される。</p>

事業 125	事務事業名	ブランド化推進事業費				担当部署	部名	産業経済部	
		-----					課名	観光・ブランド課	
						電話	82 - 1966		
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	款	商工費	
	政策名(章)	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり					一般会計	項	商工費
	施策名(節)	第1節 射水ブランドの創造						目	商工総務費
事業開始・終了年度		平成 19 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		射水ブランド戦略会議設置要項 射水ブランド推進会議設置要綱 射水ブランドロゴマークの使用に関する要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	10 頁	個別計画	射水ブランド推進計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	全市民、市内事業者及び市外、県外の住民	
	意図 (どのような状態に)	射水市が持つ地域資源の良さに市民一人ひとりが気づき、地域に誇りを持ち、情報を発信する。 また、射水市のイメージ及び認知の向上を図る。	
事業内容	手段 (どのような方法で)	地域イメージの向上及び地域経済を活性化させる事業全般 ・射水ブランド推進に関する戦略・戦術構築及び実施 ・射水ブランドロゴマークの活用 ・射水ブランドの発信	

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	地域ブランド調査((株)ブランド総合研究所調査)認知度	点	8.3	10.0	8.0	80.0	10.0	18.0	100.0
	補足:上記認知度の順位(母体:全国1,000の市区町村)	位	795	700位相当	802		700位相当	500位相当	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	ブランドロゴマーク民間活用数(延べ)	件	26	50	57	114.0	70
	射水ブランド情報総合サイトアクセス数(年間)	人	0	25,000	28,500	114.0	30,000

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	5,141 千円	2,611 千円	49.2	2,122 千円
財源内訳	人件費	6,555 千円	6,460 千円	1.4	6,460 千円	
	退職手当引当金相当額	950 千円	950 千円	0.0	950 千円	
	事業コスト計	12,646 千円	10,021 千円	20.8	9,532 千円	
	国県支出金	0 千円	1,203 千円	皆増	1,580 千円	
	その他	4,750 千円	0 千円	皆減	0 千円	
	一般財源	7,896 千円	8,818 千円	11.7	7,952 千円	
当該事務従事職員数		1.00 人	1.00 人	0.0	1.00 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	合併により新設された市であることから全国的にも市名の認知度が低い。地域間競争が激しさを増している中で地域の独自性、個性を明確に打ち出し、射水市の魅力を全国に発信する上で地域ブランドへの取り組みが重要である。
有効性	2	射水ブランドへの取組を継続的に実施し、各種施策を複合的に結びつけ、認知度を高めるため、長期的視野で実施することが必要である。
達成度	4	全ての活動指標において目標を達成しているが、全国的な認知度は低いことから、各種施策を有効に連携させ、地域経済の活性化及び地域イメージの向上に努める必要がある。
効率性	4	県等の補助を活用しながら、限られた事業費の中で有効に事業を実施している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	市民、市民団体、事業者及び関係各課等と連携し、また、ロゴマークを活用し、地域経済が活性化されるような仕組みを構築できるよう、事業を運営したい。

事業 126	補助金の名称	射水ブランド行動隊支援補助金				担当部署	部名	産業経済部	
							課名	観光・ブランド課	
						電話	82-1966		
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	商工費
	政策名(章)	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり						項	商工費
	施策名(節)	第1節 射水ブランドの創造						目	商工総務費
補助期間		平成 19 年度 ~ 平成			年度				
根拠法令・要綱等									

事業目的	対象(交付先)	射水ブランド行動隊あいばっく						
	意図(補助目的)	射水ブランド及び射水ブランドロゴマーク等の情報発信						
事業内容	手段(主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>射水ブランドロゴマークの活用</li> <li>各種イベント等における情報発信</li> <li>射水ブランドの調査及び研究、情報発信</li> </ul>						
		類型区分	団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他( )	政策的補助		

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	射水ブランド行動隊会員数	人	55	80	93	116.3
	射水ブランド行動隊年間事業費	千円	280	706	2,203	312.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	千円	(金額)	250 千円	(金額)	250 千円	
	(件数)	件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	団体運営に関する経費 ・会議費、通信運搬費等				予算の範囲内 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	射水ブランドを継続的に市内外に発信するには、市民の積極的な参画が必要である。その推進母体となる団体が継続的に活動するためにも運営費を補助する必要がある。
有効性	4	会員数の増加、事業の拡大等、大きな事業効果を得ている。
効率性	4	自主財源を確保するため、グッズの制作・販売等を積極的に行い効率的に運営されている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	ロゴマークを活用した手づくりマスコットを制作・頒布するなど、マークの認知度を高めることに非常に貢献している。 今後も市民団体等と連携を図りながら、市民協働で効率的に事業を展開したい。

事業	補助金の名称	富山新港新湊まつり事業補助金				担当部署	部名	産業経済部	
127							課名	観光・ブランド課	
							電話	82-1958	
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	商工費
	政策名(章)	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり						項	商工費
	施策名(節)	第2節 魅力ある観光の振興						目	観光費
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度								
根拠法令・要綱等	無								

事業目的	対象(交付先)	富山新港新湊まつり実行委員会						
	意図(補助目的)	富山新港新湊まつりの開催						
事業内容	手段(主な活動)	・新湊まつり(かぐら通り周辺)のじた踊り、よさこい競演会、納涼出店、市民参加ステージ等 ・新湊まつり花火大会(海王丸パーク)新湊・日本海フェスタ、花火大会						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他( )				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観光客入込み数	人	30000	30000	30000	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	2,800 千円	(金額)	2,800 千円	(金額)	2,800 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	新湊まつりの開催・運営にかかる経費				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	3	のじた踊りの伝統継承やよさこい競演や市民参加型のイベントを通して市民の一体感が生まれている。また、帆船海王丸のバックに打ち上げる花火大会(水中スターマイン)は県内外での認知度も高まっている。
有効性	3	イベントのため、入込み数が天候に左右されるが、実施には、補助を行うことが必要。
効率性	3	補助金以外にも企業協賛金がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
C	運営主体について、今後協議が必要。

事業	補助金の名称	小杉みこし祭り事業補助金				担当部署	部名	産業経済部	
128							課名	観光・ブランド課	
							電話	82-1958	
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	商工費
	政策名(章)	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり						項	商工費
	施策名(節)	第2節 魅力ある観光の振興						目	観光費
補助期間	平成 17 年度		~		平成 - 年度				
根拠法令・要綱等	無								

事業目的	対象(交付先)	小杉まつり実行委員会						
	意図(補助目的)	第41回小杉まつり「小杉みこし祭り2009」開催のため						
事業内容	手段(主な活動)	・みこしパレード(自治会本みこし10基、創作みこし24基が出演)、アトラクション(オープニング、みこしパレード終了後)、民謡の夕べ、納涼花火大会 ・みこし展示(小杉庁舎敷地、ラポール南側玄関先)						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他( )				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観光客入込み数 H20は途中で雨天中止	人	5300	10000	15000	150.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	13,600 千円	(金額)	12,240 千円	(金額)	11,000 千円
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	祭りの実行にかかる経費			千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	3	地区のコミュニティ醸成を主な目的として開催する事業であり、広く住民が参加する事業であるが、年々参加団体が減少傾向にある。
有効性	3	当事業の開催により当地区住民の参加をはじめ、地区出身の県外在住者の参加も得て、住民の一体感の醸成と参加者、見学者双方に元気を与えている。
効率性	3	対象経費について見直す余地があるものの、財源については協賛金を募り、また繰越金についても補助額をはるかに下回っている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	事業の内容をさらに見直し、一層の補助金の効率的な利用を検討していきたい。

事業	補助金の名称	越中だいもん凧まつり事業補助金				担当部署	部名	産業経済部	
129							課名	観光・ブランド課	
							電話	82-1958	
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	商工費
	政策名(章)	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり						項	商工費
	施策名(節)	第2節 魅力ある観光の振興						目	観光費
補助期間	平成 17 年度		~		平成		- 年度		
根拠法令・要綱等	無								

事業目的	対象(交付先)	越中だいもん凧まつり実行委員会						
	意図(補助目的)	第32回越中だいもん凧まつりの開催						
事業内容	手段(主な活動)	・凧揚げ大会(大門カイトパーク) 子供凧揚げ、全国有名凧揚げ競技、ローカル凧揚げ競技(児童クラブの部、自治会の部)、コマーシャル凧揚げ競技、凧絵コンテスト ・交流会(大門総合会館) 国内凧愛好者の交流、凧オークション ・大凧の街頭展示						
		類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	格差是正補助	

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観光客入込み数 H21は開始30分程度で雨天中止	人	60000	60000	5000	8.3

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	15,500 千円	(金額)	14,350 千円	(金額)	12,500 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	大会の開催にかかる経費				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	大会を開催することにより、凧づくりの技の継承や凧揚げを通して市民の一体感が生まれている。また、回数を重ねることにより、全国での認知度も高まっている。
有効性	3	イベントのため、入込み数が天候に左右されるが、大会の実施には、補助を行うことが必要。
効率性	3	協賛金を募っている。天候により大会の実施が左右されるため、今年度については繰越金が多い。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	繰越金について精算し、対象経費については精査したい。

事業 130	補助金の名称 NPO法人ジャパン・フィルムコミッション負担金	担当部署 産業経済部 観光・ブランド課 82-1958
総合計画	施策の大綱 第3部 元気で活気あふれるまち 政策名(章) 第1章 新しい価値を生み出すまちづくり 施策名(節) 第2節 魅力ある観光の振興	款 商工費 項目 商工費 目 観光費
補助期間	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度	一般会計
根拠法令・要綱等	無	

事業目的	対象(交付先) (予定)全国フィルム・コミッション連絡協議会 意図(補助目的) フィルム・コミッション連絡協議会に加盟し、より多くの情報を得ること及び、他のフィルム・コミッションとの連携を図るため
事業内容	手段(主な活動)
類型区分	団体運営費補助 事業費補助 施設等整備費補助 政策的補助 格差是正補助 利子補給 その他( )

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	千円	(金額)	千円	(金額)	千円
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	件
	補助区分	内 容				上限額
	定額補助 定率補助 その他					千円 上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載

評価項目	点数	説明
妥当性		
有効性		
効率性		

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
	(未執行理由) FC設立に関して、当初考えていたよりも、人的面及び経費がかかるため、年度内の設立ができなかったため



事業	補助金の名称	いきいき射水太閤山フェスティバル開催補助金				担当部署	部名	産業経済部	
131							課名	観光・ブランド課	
							電話	82-1958	
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	商工費
	政策名(章)	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり						項	商工費
	施策名(節)	第2節 魅力ある観光の振興						目	観光費
補助期間	平成 17 年度		~		平成 - 年度				
根拠法令・要綱等	無								

事業目的	対象(交付先)	北日本放株						
	意図(補助目的)	いきいき射水太閤山フェスティバルの開催						
事業内容	手段(主な活動)	太閤山ランドを会場にゴールデンウィーク期間中、アトラクションステージ・ゲームコーナーなどのイベントを開催する。						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他( )				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観光客入込み数	人	43130	45000	64950	144.3

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	1,000 千円	(金額)	900 千円	(金額)	855 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	事業の開催にかかる経費				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	3	市内外の家族を中心とし、イベントを楽しんでもらうと共に、市外からの来場者には射水市の魅力を広くアピールする。
有効性	3	イベントのため、入込み数が天候に左右されるが、大会の実施には、補助を行うことが必要。
効率性	3	射水市以外にも補助金、協賛金、売上げ等があるため、必ずしも定額の補助が必要とは言えない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
C	ファミリー向けのイベントが少ないなかで認知度・集客数が高く、今後とも補助することが必要。

事業No.	補助金の名称	庄川鮭まつり補助金				担当部署	産業経済部
132						課名	観光・ブランド課
						電話	82-1958
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり					
	施策名(節)	第2節 魅力ある観光の振興					
補助期間	平成 17 年度			～	平成 一 年度		
根拠法令・要綱等	無						

事業目的	対象(交付先)	庄川鮭まつり実行委員会					
	意図(補助目的)	庄川鮭まつり補助金					
事業内容	手段(主な活動)	・鮭の遡上見学、つかみ捕り、鮭なべの販売					
類型区分		<input type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> 事業費補助	<input type="checkbox"/> 施設等整備費補助	<input type="checkbox"/> 政策的補助		
		<input type="checkbox"/> 格差是正補助	<input type="checkbox"/> 利子補給	<input type="checkbox"/> その他( )			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
①	観光客入込み数	人	15000	15000	15000	100.0
②						
③						

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	200 千円	(金額)	180 千円	(金額)	80 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	<input type="checkbox"/> 定額補助	イベントの開催にかかる経費				千円	
<input type="checkbox"/> 定率補助							
<input type="checkbox"/> その他	※上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						

評価項目	点数	説明
妥当性	3	このイベントには、県内外から数多くの観光客が訪れ、秋の風物誌となっている。
有効性	3	庄川に対する親水の意識啓発や清流庄川のPRをこのイベントを通じて行うことができる。
効率性	2	小額な補助ではあるが、観光資源の一つとしての庄川のPRにつながっている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
D	小額な補助ではあるがより効果的な事業運営を促したい。

事業 133	補助金の名称 <b>薬勝寺池フナ釣り大会補助金</b>				担当部署 部名 課名 電話	産業経済部 観光・ブランド課 82-1958
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち	予算科目 会計	一般会計	款	商工費
	政策名(章)	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり			項	商工費
	施策名(節)	第2節 魅力ある観光の振興			目	観光費
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度					
根拠法令・要綱等	無					

事業目的	対象(交付先)	薬勝寺池フナ釣り大会実行委員会				
	意図(補助目的)	薬勝寺池フナ釣り大会の開催				
事業内容	手段(主な活動)	・フナ釣り大会開催 大漁賞、大物賞、生態環境保全賞など。				
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他( )		

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観光客入込み数	人	150	150	115	76.7

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	300 千円	(金額)	270 千円	(金額)	256 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	大会の開催にかかる経費				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	1	自然豊かな薬勝寺池公園を、釣りだけでなく、公園全体での運営管理が必要。
有効性	1	年々参加者が減少傾向にあり、かつ偏っている。市内の参加者も太閤山地区がほとんど。
効率性	2	補助金以外に財源がない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
D	実施の有無及び、続ける場合には運営主体を要検討。

事業 134	補助金の名称 新湊曳山まつり運営補助金	担当部署 産業経済部 観光・ブランド課 82-1958
総合計画 施策の大綱 政策名(章) 施策名(節)	第3部 元気で活気あふれるまち 第1章 新しい価値を生み出すまちづくり 第2節 魅力ある観光の振興	予算科目 会計 一般会計
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度	款 項目 商工費 商工費 観光費
根拠法令・要綱等	無	

事業目的 対象(交付先)	新湊曳山協議会			
意図(補助目的)	放生津八幡宮秋季例大祭(新湊曳山まつり)の運営			
事業内容 手段(主な活動)	新湊曳山まつりの運営を安全かつ優美に行う			
類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助
	格差是正補助	利子補給	その他( )	

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観光客入込み数	人	70000	70000	70000	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	6,120 千円	(金額)	6,120 千円	(金額)	6,120 千円
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	新湊曳山まつりの運営、PR及び祭事の保存継承にかかる経費			千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	曳山は市の有形民俗文化財であり、市の財産であるため、その保存継承には補助金が必要
有効性	4	曳山まつりの運営及び保存に補助金が必要
効率性	3	曳山の運営に関して、経費は必要最小限

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	曳山の保存継承には今後とも補助を行うことが必要

事業 135	補助金の名称 新湊曳山まつり観覧席設置補助金	担当部署 産業経済部 観光・ブランド課 電話 82-1958
総合計画	施策の大綱 第3部 元気で活気あふれるまち 政策名(章) 第1章 新しい価値を生み出すまちづくり 施策名(節) 第2節 魅力ある観光の振興	予算科目 会計 一般会計 款 商工費 項 商工費 目 観光費
補助期間	平成 19 年度 ~ 平成 - 年度	
根拠法令・要綱等	無	

事業目的	対象(交付先) 新湊曳山協議会								
	意図(補助目的) 新湊曳山まつりで有料観覧席を設置し、県内外からの観光客に利用してもらう								
事業内容	手段(主な活動) 新湊曳山まつりでの観覧席の設置及び運営								
類型区分	<table border="1"> <tr> <td>団体運営費補助</td> <td>事業費補助</td> <td>施設等整備費補助</td> <td>政策的補助</td> </tr> <tr> <td>格差是正補助</td> <td>利子補給</td> <td>その他( )</td> <td></td> </tr> </table>	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	格差是正補助	利子補給	その他( )	
団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助						
格差是正補助	利子補給	その他( )							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観覧席券販売数	枚	85	100	86	86.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	400 千円	(金額)	400 千円	(金額)	360 千円
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	新湊曳山まつりでの観覧席の設置及び運営			千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	新湊地区のみまちづくり交付金の対象地域であるため
有効性	3	曳山の巡行にあわせて、観覧席の設置場所が昼の年と夜の年があり、夜のほうが集客がある。観覧席の設置場所については、検討の余地がある。
効率性	3	他に財源がないが、経費は必要最小限である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	認知度がまだ低いですが、初めて曳山を体験する人にとって、観覧席は有用であり、続けることにより、新たな観光客を呼び込みたい。

事業 136	補助金の名称 <b>海老江曳山まつり運営補助金</b>	担当部署 部名 産業経済部 課名 観光・ブランド課 電話 82-1958
総合計画	施策の大綱 第3部 元気で活気あふれるまち 政策名(章) 第1章 新しい価値を生み出すまちづくり 施策名(節) 第2節 魅力ある観光の振興	予算科目 会計 一般会計 款 商工費 項目 商工費 目 観光費
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度	
根拠法令・要綱等	無	

事業目的	対象(交付先) 海老江曳山協議会 意図(補助目的) 海老江加茂神社「曳山祭り」の運営								
事業内容	手段(主な活動) 海老江加茂神社祭礼日の曳山巡行の運営								
類型区分	<table border="1"> <tr> <td>団体運営費補助</td> <td>事業費補助</td> <td>施設等整備費補助</td> <td>政策的補助</td> </tr> <tr> <td>格差是正補助</td> <td>利子補給</td> <td colspan="2">その他( )</td> </tr> </table>	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	格差是正補助	利子補給	その他( )	
団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助						
格差是正補助	利子補給	その他( )							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観光客入込み数	人	22000	22000	22000	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度			
	(金額)	945 千円	(金額)	945 千円	(金額)	945 千円		
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件		
	補助区分	内 容				上限額		
	定額補助	海老江曳山まつりの運営、PR及び祭事の保存継承にかかる経費				千円		
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載							
その他								

評価項目	点数	説明
妥当性	4	曳山は市の有形民俗文化財であり、市の財産であるため、その保存継承には補助金が必要
有効性	4	曳山まつりの運営及び保存に補助金が必要
効率性	3	曳山の運営に関して、経費は必要最小限

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	曳山の保存継承には今後とも補助を行うことが必要

事業	補助金の名称	大門曳山まつり運営補助金				担当部署	部名	産業経済部	
137							課名	観光・ブランド課	
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	商工費
	政策名(章)	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり						項	商工費
	施策名(節)	第2節 魅力ある観光の振興						目	観光費
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度								
根拠法令・要綱等	無								

事業目的	対象(交付先)	大門曳山連合保存会					
	意図(補助目的)	大門曳山まつりの運営					
事業内容	手段(主な活動)	4本の曳山車供奉、大門曳山まつりの運営					
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他( )			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観光客入込み数	人	10000	10000	10000	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度			
	(金額)	1,165 千円	(金額)	1,165 千円	(金額)	1,165 千円		
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件		
	補助区分	内 容				上限額		
	定額補助	大門曳山まつりの運営、PR及び祭事の保存継承にかかる経費				千円		
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載							
その他								

評価項目	点数	説明
妥当性	4	曳山は市の有形民俗文化財であり、市の財産であるため、その保存継承には補助金が必要
有効性	4	曳山まつりの運営及び保存に補助金が必要
効率性	3	曳山の運営に関して、経費は必要最小限

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	曳山の保存継承には今後とも補助を行うことが必要

事業 138	補助金の名称 新湊カニかに海鮮白えびまつり補助金	担当部署 産業経済部 観光・ブランド課 82-1958
総合計画	施策の大綱 第3部 元気で活気あふれるまち 政策名(章) 第1章 新しい価値を生み出すまちづくり 施策名(節) 第2節 魅力ある観光の振興	款 商工費 項 商工費 目 観光費
補助期間	平成 20 年度 ~ 平成 - 年度	一般会計
根拠法令・要綱等	無	

事業目的	対象(交付先) 新湊カニかに海鮮白えびまつり実行委員会
	意図(補助目的) 新湊カニかに海鮮白えびまつり
事業内容	手段(主な活動) ・海鮮関係(白えび即売、カニ即売、海鮮即売、寿司即売) ・飲食関係(白えびから揚げ、白えび料理、カニ鍋、カニ料理、ゆでカニ、海鮮バーベキュー、塩干物即売) ・一般バザール(物産の即売、飲食物の即売、ミートの即売、ミート(食肉汁等)の即売) ・催事関係(ステージイベント、きときと新鮮刺身コーナー、かじき鮓の解体、海鮮ミニセリ市)
類型区分	団体運営費補助 事業費補助 施設等整備費補助 政策的補助 格差是正補助 利子補給 その他( )

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	観光客入込数	人	90000	90000	70000	77.8

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度			
	(金額)	千円	(金額)	7,000 千円	(金額)	5,500 千円		
	(件数)	件	(件数)	1 件	(件数)	1 件		
	補助区分	内 容				上限額		
	定額補助	イベントの開催にかかる経費				千円		
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載							
その他								

評価項目	点数	説明
妥当性	4	新湊産のカニ・白えびをメインに新鮮な海の幸など地元特産品をPRしている。来場者については、カニ、白えびをはじめ新鮮な海の幸を思う存分に堪能していただく絶好の機会として地域のイベントとして定着している。
有効性	3	例年数多くの観光客が来場しているが、これまで以上に誘客に力を入れる必要がある。
効率性	3	繰越額は小額であり、効率的な事業運営を図っているところであるが、射水のブランド発信に資するようさらに効率的な事業運営を図っていきたい。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	今後は、さらに誘客を図るための魅力的なイベント内容を検討していく必要がある。



事業 139	補助金の名称 <b>観光物産展等出展補助金</b>	担当部署 産業経済部 観光・ブランド課 82-1958	課名 観光・ブランド課	電話 82-1958	款 商工費	項目 商工費	観光費
総合計画	施策の大綱	第1章 新しい価値を生み出すまちづくり	予算科目	一般会計	款	項目	観光費
	政策名(章)	第2節 魅力ある観光の振興					
	施策名(節)						
補助期間		平成 20 年度 ~ 平成 - 年度					
根拠法令・要綱等		無					

事業目的	対象(交付先)	射水市ふるさと物産協議会				
	意図(補助目的)	射水市の特産品を広く全国へPRし、射水市のブランド力を高める				
事業内容	手段(主な活動)	首都圏、中京圏、関西圏等、多くの誘客が見込める地域において、射水市の観光・物産展を開催する				
類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
	格差是正補助	利子補給	その他( )			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	出展回数	回				

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	千円	(金額)	800 千円	(金額)	800 千円
	(件数)	件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	首都圏等での、射水市のPR及び物販			千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	市の名前を売るためには、市のうまいもんをPRすることが有用であり、そのために多数のイベント等に出席していくことは必要
有効性	3	効果が見えにくいですが、より集客力のあるイベントやマスコミを利用したPRをする必要がある。
効率性	3	より魅力あるイベントへの出展やPRをするためには、決して多くない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	市を全国にPRするためには、今後さらに積極的に出展等をしていく必要がある。